

こちら奈良市

東部出張所です

〜未来のために今できること〜

第36号

令和2年3月1日発行

編集・発行 東部出張所 奈良市東大寺町4735
 奈良市大柳生 93-0001
 TEL 93-0001
 FAX 93-0061

こんにちは。東部出張所長補佐の藤原卓二です。日差しが春のおとずれを告げる頃となつてまいりましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、奈良を代表する春の伝統行事といえば東大寺の修二会です。現在は3月1日から14日までの2週間行われますが、もとは旧暦の2月1日から行われていたの「修二会」と呼ばれるようになったそうです。正式名称を「十一面悔過(じゅういちめんげか)」といい、二月堂本尊の十一面観世音菩薩の前で懺悔することを意味するそうです。



修二会は天平勝宝4年(752)東大寺開山良弁僧正の高弟、実忠和尚によつて始められたと伝えられ、それ以降一度も絶えることなく1260年以上続けられており、今では国内外からの多くの見物客で賑わいます。

3月12日には若狭井という井戸から観音様にお供えする御香水が汲み上げられ、またこの行を務める連行衆の道明かりとして毎夜松明がともされます。それらの儀式により修二会を「お水取り」や「お松明」と呼ばれるようになったそうです。

地域の取組みをご紹介!

「ふじい忠一記念館&木のおもちゃMOKMOO」
 オープニングイベント

■日時 令和2年3月15日(日)14時から17時
 16日(月)10時から17時

■場所 奈良市下狹川町24-2 (JA狹川支店跡)

■内容 「人と木と、自然。」がコンセプト。

狹川と奈良市東部の活性化を図ることを目的に、狹川地区のNPOが企画する取組みです。

現代アート(巨木アート)で有名な、ふじい忠一氏の作品展示や県内の作家さんによる木育をテーマにした木のおもちゃ作りや楽器作りなどのワークショップが盛りだくさん。
 是非足を運んでみてください。

■後援 奈良市、奈良市教育委員会

■協力 奈良県農林部 奈良の木ブランド課

■問合せ NPO法人 手力男 広報担当

TEL 090-4841-9647



東部出張所 職員のコーナー

こんにちは。奥西です。東部出張所の臨時職員として勤務させていただいています。

数年前に東里や狹川の各々の地域の人たちと、地域の神社やお寺、城跡を巡る機会がありました。特に城跡は、畑になっているところもありましたが、井戸があったり、城の周りを取り囲む穴壕の一部が残っていたり、堅堀や山の斜面が武者返しのように反ったところもあり、敵の侵入を防ぐために造った跡が今も残っていることに驚きました。これから時間があれば地域の歴史的遺産を、もう一度見て回りたいと思います。

まもなく暖かい日が多くなり、田畑の仕事も日々忙しくなってきます。桜の花も楽しみです。須川ダムの桜。ダムの湖面に映る桜もいいですね。

須川町の耕地整備をした田圃一面に水が張られ、鏡を張つたように輝き、田植えが終われば早苗が育つて緑の絨毯を敷き詰めたようになります。稲穂が実つてくると田圃一面が黄金色に変わります。私が毎年楽しみにしている景色です。皆さんも、いつもの暮らしの中の見慣れた風景から、気に入った場所や景色を見つけませんか。今よりもっと自分の住んでいるところが好きになるのではないのでしょうか。

※こちらに掲載の情報は編集の都合上、

2月17日現在のものになります。

